

国際シンポジウム「中国についての学術的な考え方—日本からの視点」

Scholarly Perspectives on China: The View from Japan

2011年11月12日(土)–13日(日)

公開記念講演会

場所 京都大学総合研究4号館(人文科学研究所)共通1講義室

使用言語：英語

申込み不要・参加無料

11月12日(土) 11:00～12:30

「中国、日本、オーストラリア 中華世界研究センター」

China, Japan, and the Australian Centre on
China in the World

講師 ジェレミー・バーメ

オーストラリア国立大学・中華世界研究センター所長

11月13日(日) 11:00～12:30

「中国についての日本人による 学術的見解—100年をふりかえって」

Japanese Scholarly Views of China over
the Past Century

講師 ジョシュア・フォーゲル

カナダ・ヨーク大学歴史学科教授

主催 オーストラリア国立大学・
中華世界研究センター

京都大学人文科学研究所・
人文学国際研究センター

共催 イタリア国立東方学研究所
フランス国立極東学院



Australian Centre on
China in the World



京都大学人文科学研究所



European Consortium
for Asian Field Study



Scuola Italiana di Studi
sull'Asia Orientale
ISEAS



École Française
d'Extrême-Orient
EFEO

本 国際シンポジウムは、中国に関心がある日本の若手研究者とオーストラリア中華世界研究センターのメンバーが交流し、日豪の中国研究について相互理解を促進することを目的とする共同企画である。招聘を予定している参加者の多くが最近博士号を取得した若手研究者や大学院生である。その学問的背景は、専門横断的で、歴史学、文学、文化人類学、芸術史、政治学、音楽学、ジェンダー研究、カルチュラル・スタディーズ、社会学など多岐にわたる。多くの大学から、異なるアプローチをする研究者が参加することになる。シンポジウムは非公開であるが、これを記念して、二人の中国研究者による公開講演会が予定されている。ふるって参加していただきたい。

Geremie R. Barmé ジェレミー・バーメ

オーストラリア国立大学・中華世界研究センター所長

近代中国における文化・思想史を専門とする歴史家。同時に文化批評家であり、映画製作も手掛ける。オーストラリア中華世界研究センターの初代所長でその電子ジャーナル *China Heritage Quarterly* の編集代表。最近の書物に *The Forbidden City* (Harvard University Press) がある。映像作品として *The Gate of Heavenly Peace* (Boston, 1995) と *Morning Sun* (Boston, 2003) が有名である。



Joshua A. Fogel ジョシュア・フォーゲル

カナダ・ヨーク大学歴史学科教授

専門は日本と中国の関係史。コロンビア大学で博士号取得。ハーバード大学、カリフォルニア大学サンタ・バーバラ校などで教え、2005年から現職。1996年から1997年にかけて京都大学人文科学研究所で研究に従事する。主要著作の中で翻訳されているものに『中江丑吉と中国——ヒューマニストの生と学問』（岩波書店）、『内藤湖南——ポリティックスとシノロジー』（平凡社）などがある。最近関心を寄せているテーマは1862年から19世紀末にかけて上海に存在した日本人社会である。

〈連絡先〉

京都大学人文科学研究所・人文学国際研究センター
606-8501 京都市左京区吉田本町
Tel 075-753-6904
E-Mail contemporarychina11@gmail.com

〈アクセス〉

市バス 17、203系統「農学部前」下車徒歩1分
市バス 31、201、206系統「百万遍」下車東へ徒歩5分
京都大学 北門入ってすぐ右
※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用下さい。

